

編集後記

私は何年か前から某大学の工学部で大学院の授業を担当しています。私の専門は広くいえばプラズマ、狭くいえばプラズマ分光学です。私が物理教官であるためか、私の授業は時間割の「全学科向け」のところに印刷されていて、すべての学科から80人くらい受講して下さっています。ありがたいことです。ところがこれが問題です。普通、大学院の授業では授業担当者の専門分野の話をするものですが、学生さんの内訳は、単位の事情からなのか、プラズマに関係ありそうな電気電子の学生は1、2名で、あとは建築・土木などの、あまりプラズマに縁がなさそうな学生さんです。本当にプラズマの授業をするのか？電磁気学をやっていない学科もあります。統計力学と量子力学は、ほとんどの学科ではありません。それでも、初年度はプラズマをやってみました。授業の準備では、プラズマ全般について理解が十分でない不安だし、核融合を宣伝せねばならぬとの思いから、当

時、私はプラズマ・核融合学会員ではなかったのですが、わらをもすがる気持ちから(?)、事務局の方をお願いして、学会誌の創刊号からすべてのバックナンバーを購入しました。まだ編集委員として何もしていませんが、学会誌には深い因縁を感じないでもありません。さて授業のほうは、学会誌のおかげで、最初の数回は核融合の話などで学生さんもつきあってくれましたが、それ以降は標準的なプラズマの教科書にそって授業をやったところ、起きています人の方が少ないという惨状になってしまいました。私の力不足を反省しつつも、大勢の人たちになじみのある自動車の話をするのとはわけが違うぞとも感じました。現在は学生さんに「卒業までに物理の基礎をやったほうがいい」と言い聞かせて統計力学をやっています。学生さんは授業中起きていますが、ごまかしながらやっている後ろめたさがあります。編集委員の仕事を通じて、プラズマの授業をおもしろくやるヒントがつかめればなあと思っています。(澤田圭司)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	井上 信幸	副 会 長	佐藤 徳芳	山中 龍彦	常務理事	上村 鉄雄 (総務委員長)
理 事	井岡 茂	榎戸 武揚	岡崎 隆司 (財務委員長)		河合 良信 (出版委員長, 広報委員長)	
	小川 雄一 (企画委員長)	岡野 邦彦	永見 正幸 (プログラム委員長)		堀岡 一彦	
	田辺 哲朗 (編集委員長)	長 照二				
	西原 功修	二宮 博正 (広告委員長)				
	松井 秀樹	松岡 啓介				
監 事	山中 芳宣	天岸 祥光				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田辺哲朗 (名大)
 エディター 関子秀樹 (九大), 関 昌弘 (原研), 田中雅慶 (核融合研), 西村博明 (阪大), 福山 淳 (京大), 藤山 寛 (長崎大)
 編集委員 入江 克 (早大), 沖野晃俊 (東工大), 小椋一夫 (新潟大), 加藤雄大 (京大エネ研), 金子俊郎 (東北大), 河内哲哉 (原研), 佐藤邦弘 (姫路工大), 澤田圭司 (信大工), 上瀧恵里子 (九大応力研), 白神宏之 (阪大レーザー研), 杉本敏司 (阪大院工), 高木浩一 (岩手大工), 高畑一也 (核融合研), 立松芳典 (筑波大プラズマ), 田中謙治 (核融合研), 田中 仁 (京大エネ科), 津島 晴 (横浜国大), 内藤裕志 (山口大工), 吉村秀人 (三菱電機), 濱松清隆 (原研), 松川 誠 (原研), 水内 亨 (京大エネ研), 村上 泉 (核融合研), 八木康之 (産総研), 山崎誠一郎 (川崎重工), 渡邊清政 (核融合研), 渡邊智彦 (核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第79巻第3号

編集・発行
 ☎460-0003 名古屋市中区錦2丁目20-20 2階
 印刷 株式会社荒川印刷
 社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2003年(平成15年)3月25日
 Tel. 052-231-4535 Fax. 052-231-7557
 E-mail: jspf@nifs.ac.jp URL: http://jspf.nifs.ac.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1火曜日に開かれています。但し、第1火曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の火曜日に開かれます。